

Theater TEN Company
シアターテンカンパニー

2001年旗揚げ。安里在のアトリエ『シアターテン』を拠点に活動。劇団としては、小劇場演劇作品から、音楽劇、子供ミュージカル、高校演劇、琉球舞踊やウチナー芝居など、幅広いジャンルの作劇を行っているが、創作だけでなく企画、制作のプロ集団としても活動している。また、後進育成の俳優教育も積極的に行っている。



田原雅之

Theater TEN Company 代表

3年に一度異動する役所の担当者、たまたま熱意があったとしても、何も知らない興味も無い人に変わり、また一から文化芸術・伝統芸能のことを説明しなければならぬ苦勞がある。理解されず、現場の意見と違ったものが作られることも多い。どんなに立派なホールを建てても魅力的な企画、公演がなければ、人は集まらない。巨大空き店舗にならないよう県内の実演家を核とした平等な運営と、ルールに縛られない自由度の高い施設であれば、魅力的な実演家は訪れてくる。担当者は広くアテナを張り、那覇らしい施設とは何か真剣に考えてもらいたい。



3年に一度異動する役所の担当者、たまたま熱意があったとしても、何も知らない興味も無い人に変わり、また一から文化芸術・伝統芸能のことを説明しなければならぬ苦勞がある。理解されず、現場の意見と違ったものが作られることも多い。どんなに立派なホールを建てても魅力的な企画、公演がなければ、人は集まらない。巨大空き店舗にならないよう県内の実演家を核とした平等な運営と、ルールに縛られない自由度の高い施設であれば、魅力的な実演家は訪れてくる。担当者は広くアテナを張り、那覇らしい施設とは何か真剣に考えてもらいたい。

沖縄の演劇が熱い！
新文化芸術発信拠点施設について語る

訪れた劇場で配られる、たくさんの上演予定のチラシ。カレンダーを見くらべ、どの作品を観ようかと悩ましいほど多くの作品が毎週、さまざまな場所で上演されています。近年、劇団が次々と結成され、多くの俳優が県内で盛んに活動しています。そんな俳優のみならず、さんを支えるのは夜遅くまで解放している稽古場。仕事が終わる時間から練習が始まり、深夜まで続きます。そこでは「アトリエ公演」も行われ、間近に俳優の演技に接することができ、演劇の醍醐味を体験できます。



とにかく演者のみなさんから「使いやすい」と言ってもらえる。ここで新しい舞台を創造してもらえれば、ペンキを塗っても穴をあけても、どう使っても良い。最近、若い演者が増えたおかげで、自分の練習場所が無くなって困っている(笑) 新市民会館は、そんな施設であって欲しいと期待する。練習開始は夜9時がほとんど。深夜までは当たり前だからね。



福永武史

わが街の小劇場 主宰

1996年、大学在学中から演劇をはじめ、劇団コヨーテピストルの看板俳優として活躍。郷土沖縄にこだわりつつ、県外の作品も意欲的に挑戦。わが街の小劇場のアトリエ公演のプロデュース作品を演出し、圧倒的な世界観をつきつける。

劇艶おとな団

2011年に旗揚げ。沖縄にこだわった作品創りを心掛け、近年では「九人の迷える沖縄人」、「いっとーばい〜逃げた知事泉守紀〜」などがある。「おとなが夢を見、実現できなくちゃ、子どもと夢を語れない」をキャッチフレーズに、2017年よりアトリエ銘苅ベースを拠点に活動中。



多目的ホールは無目的ホールと、公共施設がよく批判される言葉。どんなイベントにも対応できるようにしたものの、専門的な実演には向かないホールということ。何でもダメダメと注意し、使う側の視点軽視した管理・運営では、どんどん活用されなくなる。



当山彰一

劇艶おとな団 主宰

那覇市に今後100年続く文化芸術のビジョンを描くことができ、そして県内外の実演家に強いパインプのある、アーツ・マネジメントができるプロデューサーを迎えることを本気で考えてもらいたい。思い切った大胆な発想で今後の管理・運営を行っていくことに期待する。



紀々

哲楽家・電波堂劇場オーナー

旧「studio 紀々」から昨年電波堂劇場へ。建物にも運営側にも無理のない安全・安心にレトロ空間を活用できるカタチを模索中。現在、演劇などの稽古、ピアノの練習、リハーサル、講習会、合唱、ワークショップなどで活用されている。

西平士郎

スタジオパフォ 主宰

2009年に創作ミュージカル団体パフォ部を結成。2012年に1年間ニューヨーク留学し、HBstudioで演技、ムーブメント、ヴォーカルを学ぶ。帰国後、沖縄におけるミュージカルの発展をめざし、2013年にオープンし、2017年6月より電波堂劇場を拠点に県内唯一のミュージカル専門家として活動中。



新市民会館が久茂地のランドマークになって、そこに行けば楽しいことがある、その一つに劇場があり、何かやっているから出かけようって。素敵なカフェなどの店も多い場所なので、一体となつて楽しいエリアになることを期待しています。

西平

国際通り周辺には歩いて行ける距離に劇場がいくつもあつた。パレットやテンプス、タイムス、新報、そして市民会館が完成したら、沖縄のブロードウェイです。そうなる、いろいろなコンテンツを作っていくかなければと思っています。

紀々

地元の人が心躍る場所として、「久茂地に行く」という街になることを願っています。この地域は老舗のギャラリーなど、歩いて楽しみを発見できる場所です。

劇団 O.Z.E

(オリジン・コーポレーション)

1999年1月真栄平仁(ひーぷー)を頭に当初3人で結成。従来の「演劇」のスタイルにこだわらず見に来てくれるお客さんのエネルギーとなる刺激的で生き生きとした演劇に挑戦。近年は高校生部門の「劇団H2O」や夢を諦めない大人達の「劇団OOC」も結成。港町を活動拠点とし、テンプスホール、パレット久茂地などで上演。



永田健作

オリジン・コーポレーション所属 俳優兼マネージャー

お忙しいなか取材にご協力くださいありがとうございました
秘書広報課
862-9942